



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月10日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 東 名
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江泰文
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬透 TEL 03-5566-8215
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 2018年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	51,168	—	1,261	—	1,270	—	162	—
2018年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 61百万円 (—%) 2018年2月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	3.81	3.81
2018年2月期第2四半期	—	—

(注) 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第2四半期	59,943	25,254	42.1	593.25
2018年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 25,237百万円 2018年2月期 一百万円

(注) 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年2月期	—	10.00	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	—	2,700	—	2,700	—	900	—	21.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	42,554,100株	2018年2月期	42,538,000株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	12,284株	2018年2月期	12,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	42,535,806株	2018年2月期2Q	42,520,802株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年3月1日～2018年8月31日）における我が国の経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら物販業界における個人消費については、コト消費の躍進やEコマースの続伸、CtoC（個人間取引）ビジネスの台頭などの消費形態の変化や、根強い節約志向の継続などの影響もあり、実感を伴った景気回復に向けては先行き不透明な状況が続いています。また、靴小売業界においても、業界の垣根を越えたラインロビング（今まで取り扱っていなかったラインを増やすこと）、Eコマースの進行により消費チャネルが多様化し、競争はますます激化しております。

このような環境に対応すべく当社グループは、本年度を新たな成長に向けた事業構造の改革元年と位置付け、具体的には「商品の改革」として、MD（マーチャндаイジング）プロセスの改革による商品提案力の強化、価値ある商品開発によるPB（プライベートブランド）戦略の推進および婦人靴・紳士靴のリバイバルプランを実行いたしました。また、「売場の改革」として、基幹フォーマットの改革およびオムニチャネル化の深耕に伴うEコマース事業の構造改革を推進いたしました。さらに「人の改革」として専門店事業の基本となる個人販売力の向上を掲げて改革を実施しました。

とりわけ最重点施策である「商品の改革」については、ボトルネックである過剰在庫の計画的な削減、仕入れの適正化とともに、MDプロセスの改革によりオフィスサポート等の定番商品の売場改革、ウエルネスライトインソールの拡大、ライト&リラックス等のトレンドに対応した商品開発をいたしました。また、官民連携プロジェクトである「FUN+WALK」をテーマとし、健康・快適なビジカジスタイル、スニーカー等のカジュアル商品の売場を提案いたしました。

上記の取組みにより、既存店売上の回復やPB売上構成比の向上など一定の成果は見られたものの、スポーツ靴・子供靴の二極化消費への対応不足や専門店業態（アスビー、フェミニンカフェ）の不振により客数が減少し、売上減少トレンドに歯止めをかけることができませんでした。

売上総利益率につきましては、前述のとおりPB売上構成比は改善したものの、在庫の質量の適正化を目的とした在庫処分の増加により46.7%となり小幅な改善にとどまりました。

出退店につきましては、アスビーイオンモールいわき小名浜店など17店舗を出店するとともに、一方で不採算店舗を中心に11店舗を退店し、これらにより当第2四半期末における当社グループの店舗数は938店舗（国内902店舗、中国36店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高511億68百万円、営業利益12億61百万円、経常利益12億70百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績低迷を主要因とした減損損失や西日本豪雨による災害損失など特別損失を8億96百万円計上しており、1億62百万円となりました。

当社グループはセグメント情報を記載しておりませんが、商品別売上状況は次のとおりであります。

商品別売上状況

商品別	売上高（百万円）	構成比（%）
婦人靴	11,989	23.4
紳士靴	7,859	15.4
スポーツ靴	17,348	33.9
子供靴	10,253	20.0
その他	3,717	7.3
合計	51,168	100.0

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は599億43百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金16億87百万円、売上預け金34億93百万円、商品381億69百万円、建物及び構築物31億34百万円、敷金及び保証金63億39百万円であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は346億88百万円となりました。

主な内訳は、電子記録債務117億25百万円、買掛金59億円、短期借入金77億円であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は252億54百万円となりました。

主な内訳は、資本金37億55百万円、資本剰余金35億86百万円、利益剰余金170億75百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、16億87百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において主に税金等調整前四半期純利益4億23百万円の計上、売上債権の増加13億33百万円、たな卸資産の減少15億10百万円、仕入債務の減少13億22百万円により、得られた資金は13億44百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において主に有形及び無形固定資産の取得による支出4億16百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億84百万円により、使用した資金は7億16百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において主に長期借入れによる収入5億円、長期借入金の返済による支出7億51百万円により、使用した資金は6億76百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年6月20日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間
(2018年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,687
売掛金	289
売上預け金	3,493
商品	38,169
その他	2,047
流動資産合計	45,687
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	3,134
その他(純額)	1,162
有形固定資産合計	4,296
無形固定資産	321
投資その他の資産	
敷金及び保証金	6,339
その他	3,298
投資その他の資産合計	9,638
固定資産合計	14,256
資産合計	59,943
負債の部	
流動負債	
支払手形	859
電子記録債務	11,725
買掛金	5,900
短期借入金	7,700
1年内返済予定の長期借入金	1,336
未払法人税等	711
ポイント引当金	87
賞与引当金	230
役員業績報酬引当金	8
その他	2,997
流動負債合計	31,556
固定負債	
長期借入金	1,494
退職給付に係る負債	356
資産除去債務	1,230
その他	50
固定負債合計	3,132
負債合計	34,688
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,755
資本剰余金	3,586
利益剰余金	17,075
自己株式	△4
株主資本合計	24,413
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	972
為替換算調整勘定	48
退職給付に係る調整累計額	△196
その他の包括利益累計額合計	824
新株予約権	16
純資産合計	25,254
負債純資産合計	59,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
売上高	51,168
売上原価	27,287
売上総利益	23,880
販売費及び一般管理費	22,618
営業利益	1,261
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	28
受取保険金	1
その他	3
営業外収益合計	33
営業外費用	
支払利息	24
その他	0
営業外費用合計	25
経常利益	1,270
特別利益	
受取保険金	49
特別利益合計	49
特別損失	
固定資産除却損	38
減損損失	775
災害による損失	71
その他	10
特別損失合計	896
税金等調整前四半期純利益	423
法人税、住民税及び事業税	490
法人税等調整額	△229
法人税等合計	261
四半期純利益	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	162

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益		162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△111
為替換算調整勘定		△7
退職給付に係る調整額		17
その他の包括利益合計		△100
四半期包括利益		61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		61
非支配株主に係る四半期包括利益		-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

当第2四半期連結累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年8月31日）	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	423
減価償却費	518
減損損失	775
売上債権の増減額（△は増加）	△1,333
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,510
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,322
その他	813
小計	1,386
利息及び配当金の受取額	29
利息の支払額	△24
法人税等の支払額	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△416
敷金及び保証金の差入による支出	△184
敷金及び保証金の回収による収入	46
その他	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	500
長期借入金の返済による支出	△751
配当金の支払額	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△50
現金及び現金同等物の期首残高	1,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動についての該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、株式会社プレステージシューズ及び新脚步(北京)商貿有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。